

伯耆の国よなご文化創造計画の前期計画の総括

1. 伯耆の国よなご文化創造計画の前期計画の総括について

伯耆の国よなご文化創造計画（以下「文化創造計画」という。）は、平成17年度から平成31年度までの15年間を計画期間とし、この15年間を前期（平成17年度から平成24年度まで）と後期（平成25年度から平成31年度まで）に分け、平成24年度までを前期計画期間とし、推進を図ってきた。

事業の実施にあたっては、中・長期的な観点から計画的、継続的に実施し、その時々々の社会状況の変化、本市を取り巻く状況、市民ニーズの変化などを勘案しながら、事業内容の変更、新たな事業の追加など柔軟に対応してきたところである。

ここでは、前期計画の最終年度を迎えるにあたり、この間に実施した事業をふり返し、進捗状況と評価を踏まえ、課題等を取りまとめて前期計画の総括を行おうとするものである。

2. 伯耆の国よなご文化創造計画の位置づけ

文化創造計画は、平成16年9月に米子市・淀江町合併協議会で策定された「新市まちづくり計画」における重点プロジェクトに掲げられ、また、平成18年に策定した「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」及び平成23年に策定した「第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン2011）」においても、本市の将来像である『生活充実都市・米子』の実現を目指した重要な施策として位置づけている。

平成19年3月に策定した「伯耆の国よなご文化創造計画(基本計画)」は、今後の文化創造計画の基本方針を定めたものであり、個別の事業に関する具体的な内容については、別途策定するそれぞれの事業計画に委ねている。

3. 文化創造計画の策定

文化創造計画は、公開シンポジウム・市民参加のワークショップ・アンケート等における市民の様々な提言や意見を踏まえるとともに、市が設置した「伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会」において、有識者、公募による市民などの意見を踏まえ策定したものである。

・文化創造計画(基本計画)の策定経過

平成17年11月1日	先行ウェブ・アンケートの開始
平成17年11月24日	第1回ワークショップ開催
平成17年12月8日	公開シンポジウム(キックオフイベント)開催
平成17年12月18日	市民アンケート開始(5,000人対象)
平成18年1月18日	第2回ワークショップ開催
平成18年1月30日	中学生対象アンケート実施(第4回ワークショップとして)
平成18年2月2日	第3回ワークショップ開催
平成18年2月16日	第1回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催 第5回ワークショップ開催
平成18年2月28日	「伯耆の国よなご文化創造計画」座談会
平成18年3月17日	第2回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成18年3月31日	伯耆の国よなご文化創造計画策定支援業務委託完了
平成18年4月3日	伯耆の国よなご文化創造計画(素案)を米子市ホームページに掲載し、パブリックコメント募集
平成18年5月23日	第3回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成18年7月26日	第4回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成18年8月24日	第5回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成18年9月29日	第6回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成18年11月22日	第7回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成19年2月20日	伯耆の国よなご文化創造計画(基本計画)案の公表
平成19年2月27日	第8回伯耆の国よなご文化創造計画検討委員会開催
平成19年3月23日	伯耆の国よなご文化創造計画(基本計画)案の報告
平成19年3月29日	伯耆の国よなご文化創造計画(基本計画)の策定

4. 文化創造計画の主要施策

文化創造計画では主要施策として掲げているものは下記のとおりである。

[伯耆の国よなご文化創造計画(基本計画) から抜粋]

①歴史的文化（よなごの宝）の掘り起こし事業

- ・事業の内容 米子市内にある歴史的資源などを全市的に掘り起こし、その中から市民とともに“よなごの宝” 選びを行い、米子の歴史的文化を象徴するまちづくりの資産として保護・活用する事業
- ・推進施策
 - ・市内の全校区ごとに、その校区にある歴史的資源などを再調査し、発掘し、台帳を調製
 - ・台帳に登載されたものの中から、市民代表で構成する選考委員会を設置し、“よなごの宝” を選定
 - ・選定された“よなごの宝” の保護方策の検討と市民を中心とした保存団体の育成等

②文化活動の促進支援事業

- ・事業の内容 文化に関する情報や人や物が日常的に盛んに行き来し、あわせて文化団体をはじめ様々な市民団体が自主的に活動し、交流し、連携しやすい環境づくりを支援する事業
- ・推進施策
 - ・文化団体等との意見交換会、文化施設間の連携促進会議等の開催
 - ・ジャンルの異なる団体相互間の交流事業の支援
 - ・文化団体等の活動促進のための環境整備を推進

③「文化創造計画」人づくり事業

- ・事業の内容 文化の人づくり事業としてソフト事業の企画・実施、講演会・ワークショップの開催などの実践活動等を通じて、米子の文化を創り、育み、将来に繋げていく人材の育成事業
- ・推進施策
 - ・文化のまちづくりを推進するソフト事業の企画・実践活動を通じての人材育成
 - ・人材育成のための講座の開設やフォーラムの開催
 - ・文化施設を拠点とした「友の会」、「サポーターズクラブ」等の組織づくりの推進

④文化施設等の整備事業

- ・事業の内容 伯耆古代の丘整備事業、埋蔵文化財センターの整備事業の推進及び山陰歴史館・美術館・図書館の機能の充実と狭隘化・老朽化している設備の整備事業
- ・推進施策
 - ・施設の役割・将来ビジョン・利用者拡大に向けての方策等を含む整備方針(ソフト)の策定
 - ・整備方針に基づく実施設計(ハード)の策定
 - ・財源調整を行いながら、計画的な施設の整備の実施

⑤歴史的文化資料の整理とデジタル化事業

- ・事業の内容 山陰歴史館・淀江歴史民俗資料館・福市考古資料館及び埋蔵文化財センターの機能と役割分担を明らかにする中で、それぞれが保有する資料をデジタル・アーカイブ化に向けて整理し、記録し、保存する事業

- ・推進施策
 - ・各施設が保有する資料の現況の調査
 - ・適切な保存方法の確立と統一した資料の整理、資料情報のデジタル化
 - ・情報の維持・管理及び活用システムの構築

⑥情報ネットワークの構築事業

- ・事業の内容

芸術文化や歴史的文化に限らず、学習やイベントに関する情報なども一元的に提供できる情報ネットワークを構築し、市の内外を問わず容易に伯耆の国よなごの文化を発信できるホームページを開設する事業
- ・推進方法
 - ・「調査・研究」、「学習・展示」等について、情報ワーク部会を設置し、関連情報の収集、管理、提供、活用方針の策定
 - ・情報提供システムの設計と開発
 - ・情報提供システムの構築と維持管理及び活用促進体制の確立

5. 前期計画の総括

(1)計画された事業

前期計画期間中（平成17年から24年）、上記①～⑥の主要施策について実施を計画した事業は、下記のとおりである。

①歴史的文化（よなごの宝）の掘り起こし事業

- ・実施計画事業 よなごの宝88選選定事業

②文化活動の促進支援事業

- ・実施計画事業 88フォトモール米子の景観88選選定事業

③「文化創造計画」人づくり事業

- ・実施計画事業 平成19～21年度の成果を踏まえた事業策定

(よなごの宝 88 探宝会・よなごの宝を語る会)

④文化施設等の整備事業

- ・実施計画事業 山陰歴史館整備事業、美術館整備事業、図書館整備事業、埋蔵文化財センター整備事業、伯耆古代の丘整備事業

⑤歴史的文化資料の整理とデジタル化事業

- ・実施計画事業 歴史的文化資料の整理とデジタル化事業

⑥情報ネットワークの構築事業

- ・実施計画事業 情報ネットワークの構築事業

(2)事業実施状況

各々の事業の実施状況は別紙「事業別総括票」のとおりであり、概略的には下記の状況となっている。

①概ね順調に実施できたもの

よなごの宝 88 選選定事業、よなごの宝 88 探宝会・よなごの宝を語る会、88 フォトモール米子の景観 88 選選定事業、埋蔵文化財センター整備事業、伯耆古代の丘整備事業、歴史的文化資料の整理とデジタル化事業

成果

・よなごの宝 88 選選定事業

地域に埋もれている歴史的資源を掘り起こし、調査し、基礎的な資料集成を実施し、その中から代表的な「よなごの宝」を選定し、冊子を作成、配布した。

・よなごの宝 88 探訪会・よなごの宝を語る会

「よなごの宝 88 選選定事業」の成果を活かし現地探訪(探宝会)を毎月 1 回、よなごの宝を語る会を隔月 1 回開催し、地域の宝を掘り起こし、活用する動きを醸成し、市民自ら企画し、実践できる人材の育成につなげるなど人づくり事

業としての事業展開を図っている。

・ 88フォトモール米子の景観88選選定事業

全市域を対象とした「よなごの景観88選」フォト・コンテストを実施することにより、新市の一体感の醸成を図るとともに市内のさまざまな景観のよさを再認識し、自分たちが暮らす地域に対する親しみや愛着心を育むことができた。

また、市民と行政が一体となって、写真展等を開催することにより、文化芸術活動の活性化を促進することができた。さらには「よなごの景観88選」に選定された作品の写真集を市民有志の手によって作成することによって、市民意識の発揚につながった。

・ 埋蔵文化財センター整備事業

埋蔵文化財の適切な保管・保存、公開・活用、調査・研究機能を持つ施設整備を実施し、この機能を活用した事業展開を行った。

・ 伯耆古代の丘整備事業

史跡上淀廃寺跡の当時の姿を疑似体験できる空間が創出でき、歴史に対する理解を深める施設として整備が実施できた。

・ 歴史的文化資料の整理とデジタル化事業

歴史関係施設が保有する資料を整理、記録し、そのうち可能なものについてはデジタル化して保存する作業がほぼ完了し、多種多様な資料の活用に資することが可能となった。

②事業着手が遅れたが実施中のもの

図書館整備事業、美術館整備事業

成果

・ 図書館整備事業及び美術館整備事業

整備内容について多くの市民の意見を聴き、基本設計、実施設計に活かす努力を行ったために事業実施が延伸したが、平成24年5月から整備事業に着手でき、平成25年夏のリニューアルオープンに向けて事業進捗を図っているところである。

③未実施のもの

山陰歴史館整備事業、情報ネットワークの構築事業

山陰歴史館整備事業については、中心市街地活性化に関連して施設が果たすべき機能、役割を整理するとともに、施設の利用度を高める観点から施設そのものの在り方を含めた検討が必要となったこと、また、他の施設の整備事業を優先させたことなどの要因があり未実施となっている。

情報ネットワークの構築事業については、各施設の整備状況、歴史的文化資料の整理とデジタル化事業の実施状況の推移を見ながら、事業の方向性、具体的な内容を検討する必要があるため未実施となっている。

(3) 今後の課題と後期計画について

前期計画では、文化施設等の整備事業を重点的に実施したが、後期計画においては、単に「箱もの」の整備に終わるのではなく、整備された施設をいかに利活用し、市民の文化活動への関心を深め、参加を促すため、ソフト事業のさらなる展開を視野に入れた検討が必要である。さらに、推進施策として挙げられている内容をいかに実施していくのか課題である。

また、事業の未実施のもの、不十分なもの及び新規に後期計画で取り組むものについては、事業の方向性、妥当性を検討し、後期計画における位置づけを判断する必要がある。

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	①歴史的文化の掘り起こし事業		
事業名	よなごの宝 88選選定事業		
所管課	文化課		
事業概要	<p>地域に埋もれている文化財を市民自らが掘り起こし「よなごの宝 88選」の選定に参加することで、それらを保護し、活用したまちづくりを行うことの機運を醸成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが本市の有する歴史文化についての認識を深めること。 ・文化財などを大切にす機運の高揚を促すこと。 ・地域に対する親しみや愛着心を育むこと。 ・文化財などを保護し、将来に向けて継承していくための市民団体を市内の各地域につくる機会を提案すること。 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 21 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 21 年度	
年度別実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、講演会・シンポの開催	754
	H20	講演会、シンポ、宝の選定	460
	H21	宝選定、冊子発刊 発刊部数 500部	500
	合計		1,714
主な成果	<p>地域に埋もれている史跡などの文化財を掘り起こし、調査を行い基礎的な資料集成が実施でき、その中から地域の宝の紹介を目的として、代表的な 88選を抽出し、冊子を作成し、配布した。 配布数 500部</p> <p>成果を活かし現地探訪(探宝会)を毎月 1 回開催し、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催し、「文化創造人づくり事業」につながる事業展開を図っている。</p>		
今後の課題、方向性等	<p>全市的な宝の掘り起こしは実施できたが、今後は、88選で紹介できなかったものやそれぞれの地域の宝のさらなる掘り起こし及び活用する動きの醸成が課題である。</p>		
備 考	<p>冊子「よなごの宝 88選」は実行委員会により随時増刷され書店等で有償頒布されている。</p>		

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	②文化活動の促進支援事業		
事業名	88フォトモール米子の景観88選選定事業		
所管課	文化課		
事業概要	<p>市内の様々な景観を見つめ直す機会を提供し、市民文化の振興を図ることを目的として、「写真文化」に着目し、景観をテーマとした市民からの公募による写真展を商店街などで開催した。</p> <p>応募された写真でフォト・コンテストを実施し、入選作品による「88Photomall よなごの景観88選」写真集を刊行した。</p> <p>当該事業は、市民と行政で実行委員会を組織し実施した。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成21年度	
	実績	平成19年度～平成21年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、88フォトモール写真展の開催(第1回～3回)	1,400
	H20	88フォトモール写真展の開催(第4回)よなごの景観88選の選考、入選作「米子の景観88」展覧会の開催	540
	H21	よなごの景観88選写真集の作成	1,294
	合計		3,234
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・フォト・コンテストにより、米子市のよさを再認識することができ、自分たちが暮らす地域に対する親しみや愛着心を育むことができた。 ・淀江地区を含む全市から「よなごの景観88選」選びをすることにより、新市の一体感を醸成する一助となった。 ・市民と行政が一体となった写真展等を実施することにより、文化芸術活動の活性化を促進することができた。 ・選ばれた「よなごの景観88選」の写真を題材にした写真集を市民有志の手によって作成することによって、市民意識を発揚させることができた。 		
今後の課題、方向性等	さらなる芸術文化活動の活性化と振興をいかに支援し人材育成につなげていくのか課題である。		
備考	実行委員会が主体的に事業を行っている。		

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	③文化創造計画人づくり事業		
事業名	よなごの宝 88 探宝会・よなごの宝を語る会		
所管課	文化課		
事業概要	<p>歴史的文化の掘り起こし事業として実施した「よなごの宝 88 選選定事業」の成果を活用し、市民で組織した実行委員会で現地探訪(探宝会)を月 1 回開催するほか、講座、座談会として、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催している。</p> <p>地域の宝を掘り起こし、活用する動きを醸成し、市民自ら企画し、実践できる人材の育成につながる事業展開を図っている。</p>		
事業期間	当初	平成 22 年度～平成 24 年度	
	実績	平成 22 年度～平成 25 年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	よなご 88 探宝会開催(7 月～3 月、9 回) よなごの宝を語る会 7 回	0
	H23	よなご 88 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回	0
	H24	よなご 88 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回 (予定)	0
	H25	よなご 88 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回 (予定)	0
	合計		0
主な成果	探宝会には、毎回 30 名程度の参加がある。また、宝を語る会にも 20 名程度の参加があり、地域の宝の理解につながっている。		
今後の課題、方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の実行委員会であるが、自主的に活動ができるまでには至っておらず、息の長い活動にするためには、実行委員会の独り立ちが必要である。 ・地域の宝の理解にとどまっており、さらなる地域の宝を掘り起こし、それを活用していく人材の育成及び活用する動きの醸成につながる展開を図っていく必要がある。 		
備考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	④文化施設等の整備事業		
事業名	山陰歴史館整備事業		
所管課	文化課		
事業概要	文化財の保護と活用を促進するため、良好な施設環境の維持と様々な歴史文化に関する事業を展開し、歴史文化の拠点施設としての機能を担うために整備事業を実施する。		
事業期間	当初	平成 20 年度～平成 23 年度	
	実績	未実施	
年度別実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H20		
	H21		
	H22		
	H23		
	H24		
	合計		
主な成果	事業未実施		
今後の課題、方向性等	文化創造計画後期計画の中で施設のあり方の検討も踏まえた整備計画を策定し、実施する。		
備考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	④文化施設等の整備事業		
事業名	美術館整備事業		
所管課	文化課		
事業概要	<p>米子市美術館は、昭和 58 年に開館し、郷土作家を中心に、版画、彫刻、写真等 1700 点余りを所有し、展覧会、米子市秋の文化祭等にも利用され、誰もが気軽に利用できる市民ギャラリーとしてのコンセプトを持つ市民に親しまれる美術館となっている。</p> <p>現在、開館後 30 年近くを経過し施設内部の老朽化も進み、収蔵品の増加、市民ニーズの変化にも対応し、今後も市民に親しまれる芸術・文化の情報発信と活動の拠点として、美術館の機能を充実させるための整備を実施する。</p> <p>・バリアフリー化の推進 ・展示パーテーションの改善 ・空調設備等のリニューアル ・収蔵庫の拡張 などの整備を設計に盛り込んだ。</p>		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 22 年度	
	実績	平成 22 年度～平成 25 年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備(予定)	228,426
	合計	※事業費は図書館整備費を含む	960,431
	主な成果	美術館整備事業に着手でき、平成 25 年 8 月にリニューアルオープンが目途が立った。	
今後の課題、方向性等	美術館を創作活動の拠点、発表の場として位置付け、地元芸術活動の発展にいかにつなげていくのか、また、美術普及事業を見直し、小中学生中心の講座や体験型講座の開設など整備後の活用方法の検討が必要である。		
備考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	④文化施設等の整備事業		
事業名	図書館整備事業		
所管課	生涯学習課		
事業概要	<p>建築後 30 年以上を経過しており、施設の老朽化が進みんでいるほか、資料、収蔵品の増加により狭隘化している。</p> <p>また、本市中心地の立地条件と、美術館との隣接、歴史館との近接により、文化ゾーンを形成している利点を生かして、中心市街地活性化計画においても、エリア内施設の相乗効果による集客を図ろうとしており、図書館がより活用できるよう整備を実施する。</p> <p>あわせて、旧二中校舎においては、建築後 50 年以上が経過しており耐震性や景観上の観点から解体撤去し周辺環境を整備する。</p>		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 22 年度	
	実績	平成 22 年度～平成 25 年度(予定)	
年度別実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備	228,426
	合計	※事業費は美術館整備費を含む	960,431
主な成果	平成 25 年 8 月のリニューアルオープンの目途が立った。		
今後の課題、方向性等	図書館整備を機に、より市民に親しまれ利用される図書館としての機能拡充を図るため、開館時間の延長、職員の増員等による市民サービス向上に向けた検討が必要である。		
備 考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	④文化施設等の整備事業		
事業名	埋蔵文化財センター整備事業		
所管課	文化課		
事業概要	旧日新小学校校舎（鉄筋コンクリート造3階建 延床面積2,720㎡）を活用し、埋蔵文化財を中心とした文化財の適切な保管・保存、公開・活用、調査・研究機能を持つ施設を整備し、平成22年4月に供用を開始した。		
事業期間	当初	平成18年度～平成20年度	
	実績	平成18年度～平成21年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H18	書庫、展示室、研修室、収蔵室等整備	22,027
	H19	特別収蔵庫、資料整理室、閲覧室、特別収蔵庫、写場等整備	18,908
	H20	展示室、調査研究室、保存処理室等整備	19,626
	H21	遺跡模型、解説パネル、ジオラマ等設置	7,449
	合計		68,010
主な成果	埋蔵文化財の適切な保管・保存、公開・活用、調査・研究機能を持つ施設整備を実施し、この機能を活用した事業展開が可能となった。		
今後の課題、方向性等	他の歴史関係施設、学校教育、生涯学習との連携強化をいかに図り、活用していくのか課題である。		
備考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	④文化施設等の整備事業		
事業名	伯耆古代の丘整備事業(史跡上淀廃寺跡整備事業)		
所管課	文化課		
事業概要	<p>国指定史跡が集中する淀江町福岡地区の史跡の保存・活用を図る「伯耆古代の丘整備事業」の一環として実施している。</p> <p>平成16年度から平成24年度までの予定で補助事業を活用し、上淀廃寺跡の地形復元、中心部の出土状況再現、遺構復元、便益施設整備、ガイダンス施設整備、金堂、壁画、仏像の復元等を計画し、年次的に整備を進めている。</p>		
事業期間	当初	平成16年度～平成22年度	
	実績	平成16年度～平成24年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H16	地形測量、地質調査、芝張、確認調査	28,112
	H17	休憩施設、園路、ガイダンス基本設計	56,900
	H18	追加指定地買上、遺構盛土	110,040
	H19	追加指定地買上、解説版、遺構盛土	55,395
	H20	追加指定地買上、中心伽藍整備、ガイダンス展示設計、	74,106
	H21	回廊、解説広場、ガイダンス建築工事	46,188
	H22	ガイダンス建築工事、展示工事	213,989
	H23	地形模型、総合説明板、便益施設建築	89,663
	H24	植栽、地形測量、整備報告書作成	(予定) 4,800
	合計		679,193
主な成果	<p>史跡上淀廃寺跡の現地整備では、発掘調査の成果に基づき盛土した上に当時の地形を復元し、建物跡等の表示、出土状況の忠実な再現、創建時の復元を実施した。</p> <p>ガイダンス展示施設を整備し、上淀廃寺の金堂内部を出土状況・出土品から推定復元し展示を行った。</p> <p>これらの成果から、当時の姿を疑似体験できる空間が創出でき、来訪者が当時の歴史を理解できる施設となった。</p>		
今後の課題、方向性等	<p>妻木晩田遺跡や周辺観光施設との連携が十分でないため、ソフト事業の実施など活用面を重視し、強化していく必要がある。</p> <p>駐車場の確保、追加指定地等の整備を検討し、実施する必要がある。</p>		
備考	<p>後期計画の中で、向山古墳群整備と上淀廃寺跡追加指定地の整備を予定している。</p>		

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	⑤歴史的資料の整理とデジタル化事業		
事業名	歴史的資料の整理とデジタル化事業		
所管課	文化課		
事業概要	<p>山陰歴史館・淀江歴史民俗資料館・福市考古資料館及び埋蔵文化財センターの機能と役割分担を明らかにする中で、それぞれ施設が保有する資料をデジタル・アーカイブ化に向けて整理、記録し、保存を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設が保有する資料の現況の調査 ・適切な保存方法の確立と資料の整理方法の統一化、デジタル化 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 22 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 24 年度	
	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	995
	H20	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	983
	H21	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	3,393
	H22	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	15,117
	H23	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	12,270
	H24	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	(予定)4,872
	合計		37,630
主な成果	歴史関係施設が保有する資料を整理、記録とデジタル化がほぼ完了し、資料の活用に資することができるようになった。		
今後の課題、方向性等	成果をどのように活用するのか、「文化情報ネットワークの構築事業」での方策の検討が必要である。		
備考			

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

主要施策名	⑥文化情報ネットワークの構築事業		
事業名	文化情報ネットワークの構築事業		
所管課	文化課		
事業概要	<p>芸術文化や歴史文化に限らず、学習やイベントに関する情報なども一元的に提供できる情報ネットワークを構築し、市の内外を問わず容易に伯耆の国よなごの文化を発信できるホームページを開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供システムの設計と開発 ・情報提供システムの構築と維持管理及び活用促進体制の確立 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 24 年度	
	実績	未実施	
年度別実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H19		
	H20		
	H21		
	H22		
	H23		
	H24		
	合計		
主な成果	未実施		
今後の課題、方向性等	<p>内容を検討し、後期計画での位置づけを図る。</p> <p>情報ネットワークについては、文化施設の整備を基本に、観光の視点からも分かりやすく情報発信することが望まれる。</p>		
備 考			

文化創造計画の総括表

区 分	前 期（平成17年度から平成24年度まで）										備 考		
	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の策定 ・ソフト事業（(1)歴史的文化の掘り起こし事業、(2)文化活動の促進支援事業及び(3)文化創造計画人づくり事業）の実施 ・ハード事業（(4)文化施設等の整備事業、(5)歴史的文化資料の整理とデジタル化事業及び(6)文化情報ネットワークの構築事業）の整備 ・前期計画の総括と後期計画の策定検討 												
①歴史的文化の掘り起こし事業	計画			よなごの宝 88 選									
	実績			よなごの宝 88 選									
②文化活動の促進支援事業	計画			88 フォトモール米子の景観 88 選									
	実績			88 フォトモール米子の景観 88 選									
③文化創造計画人づくり事業	計画					H19~H21 の成果を踏まえ事業策定及び実施							
	実績					よなご 88 探宝会・よなごの宝を語る会							
④文化施設等の整備事業	山陰歴史館整備事業	計画			整備方針（ハード・ソフト）⇒基本・実施設計⇒施設整備								
		実績	未 実 施										
	美術館整備事業	計画			整備方針（ハード・ソフト）⇒基本・実施設計⇒施設整備							平成25年8月供用開始予定	
		実績			整備方針・基本・実施設計・整備工事								
	図書館整備事業	計画			整備方針（ハード・ソフト）⇒基本・実施設計⇒施設整備							平成25年8月供用開始予定	
		実績			整備方針・基本・実施設計・整備工事								
	埋文センター整備事業	計画		施設整備（3ヵ年）								平成22年4月 供用開始	
		実績		施設整備（4ヵ年）									
	伯耆古代の丘整備事業	計画		上淀廃寺跡整備事業（用地購入、史跡整備及びガイダンス施設の設置）			向山古墳群の整備						平成23年4月にガイダンス施設供用開始
		実績		上 淀 廃 寺 跡 整 備 事 業（用地購入、史跡整備及びガイダンス施設整備）									平成25年3月第一次整備完了
⑤歴史的資料の整理とデジタル化事業	計画		・資料整理事業										
	実績		・資料整理事業										
⑥文化情報ネットワークの構築事業	計画			検討部会の設置⇒システム開発及び設計⇒システムの構築									
	実績	未 実 施											